

年次有給休暇の個人別計画的付与制度で有給休暇取得の促進定着

A 社

(1) 企業の概要	
事業概要	事業は工作機械などの製造および販売などで、国内では、本社のほか、複数の事業所と営業所があります。社員数は 600 人弱となっています。
労働時間制度について	本社は朝 8 時 15 分～17 時まで、昼休みが 12 時 15 分～13 時までの 45 分間で、1 日実働 8 時間勤務となっています。事業所によっては 8 時 45 分～17 時 30 分、8 時 40 分～17 時 25 分、9 時～17 時 45 分といった勤務時間がありますが、いずれも 1 日実働 8 時間となっています。
経営上・労務管理上の特徴	<p>技術力を活かしたニッチな分野を中心にグローバルで事業展開をしています。近年、多くの製品で競合メーカーの台頭などにより厳しい価格競争を迫られてきているため、常に他社を上回る高付加価値の製品および技術開発、また市場開拓やコストダウン活動などを進めています。</p> <p>人材の育成については、経営ニーズとして企業価値の向上、個人のニーズとして能力・知識の向上、キャリア開発、生涯学習に対応するため、主体的な意志をもった自立的集団の育成に向けて力を入れています。</p> <p>働きやすい職場環境づくりに向けては、育児・介護休業制度を設け、両立しやすい協力体制を整備しています。また、メンタルヘルスケアに関して、未然に防ぐため、社内に相談窓口を設けるとともに、外部カウンセリングサービスを導入しています。</p>

(2) 主な取組の内容	
「年次有給休暇の個人別計画的付与制度の導入」	<p>年次有給休暇のうち 6 日を組合と協定を結んで年末年始に一斉休暇とし、この 6 日についてはほぼ全社員休んでいます。これに加えて、最大 5 日間の年次有給休暇について、個人別の計画年休として期初に休暇取得申請をさせ、必ず休ませるようにしています。期初に申請した予定日の変更は、事前に変更申請を行うことができます。これらの制度はかなり前に導入され、定着しており、これだけで概ね 55%程度の取得率を達成しています。この他に適宜必要に応じて年次有給休暇を取得するため、近年では概ね 80%前後の取得率になっています。</p> <p>定着の過程では、年次有給休暇取得状況の実態把握を行って、部署ごとの取得状況をイントラネットで公開していましたが、定着した現時点では公開を取りやめています。</p>
「時間年休制度の導入」	<p>時間単位の年次有給休暇取得を年間最大 40 時間（5 日）まで取得できる制度を導入しています。これ以外に半日単位の年次有給休暇取得も可能な制度となっています。</p>
「労働時間の把握に PC の O」	<p>労働時間の客観的な把握のため、PC の ON/OFF データを利用</p>

N/OFFデータを利用」	し、申告時間との乖離チェックを行っています。また、乖離の大きい部署に対しては、個別に改善を促すなどの対策を図っています。
取組の評価および効果	組合と協定を結んでの年末年始の一斉休暇6日、個人別の計画年休5日という取組については、かなり前から取り組んで来たため、現在、ほぼ定着しており、概ね80%程度の年次有給休暇取得率で推移しています。年次有給休暇取得率の高さには、時間単位年休制度も寄与していると思われます。

(平成26年度事業)